

ロコモ対策に、ビタミンDとビタミンKの相乗効果

新プレミックス「ダブルビタミン for ロコモ」発売開始

運動する人が増えているシニア層に、丈夫な体づくりへの栄養サポートを提案

DSM ニュートリションジャパン株式会社は、シニア層のロコモティブシンドローム対策に向けて、ビタミン D₃ とビタミン K₂ のプレミックス「ダブルビタミン for ロコモ」の発売を開始します。骨や筋肉の強化を司る代表的なビタミンを同時に摂取することで相乗効果が生まれ、将来寝たきりにならない丈夫な体づくりをサポートします。

なお、本製品は、株式会社 J-オイルミルズの共同で開発したもので、少量添加で必要量を満たすことができ、無味無臭である納豆菌由来の同社製「ビタミン K₂ (MK-7)」を採用しています。

寝たきりや要介護になる原因は運動器由来のものが約半数を占めています。そのため、ロコモティブシンドローム対策の重要性が謳われており、実際に、シニア層の中では運動をする人が増加するなど、丈夫な体づくりへの意欲も向上しています。そこで、DSM は、最新の研究で改めて骨や筋肉への作用で注目を集めているビタミン D とビタミン K に着目し、栄養面からのロコモ対策を提案する本プレミックスの発売を決定しました。

ビタミン D：カルシウムの吸収作用に加え筋肉にも健康作用があるとされ、国際オリンピック委員会にその効果を認められています。

ビタミン K：骨の石灰化に必要なだけでなく、骨コラーゲンの産生を促進して骨のしなやかさ（骨質）を維持する効果が知られています。

相乗効果：骨と筋肉の強化を代表する2つのビタミンの併用により、筋肉、骨密度、骨質がバランスよく強化され、転倒防止や骨粗しょう症予防に効果を発揮します。相乗効果を測るための臨床試験では、難しいとされる骨密度の増加が認められました。

本プレミックスでは、人間が体内で活用しやすいビタミン D₃ と栄養価の高いビタミン K₂ (MK-7) を最適なバランスで配合しています。ビタミン D₃ は結晶から冷たい水にサッと溶ける製剤まで、ビタミン K₂ (MK-7) は油状、粉末を用意しており、様々な形態の最終製品に利用でき、配合量の調整も可能です。

<参考資料>

重要性を増すロコモティブシンドローム対策

平成 25 年国民生活基礎調査（厚生労働省）によると、要支援者の主原因は関節疾患（20.7%）、高齢による衰弱（15.4%）、骨折・転倒（14.6%）となっており、将来、要介護や寝たきりにならないためには、丈夫な体づくりが重要であることがわかります。

品質の約束 Quality For Life™

“Quality For Life™（クオリマーク）”は、品質、信頼性、トレーサビリティ、持続可能性の全てにおいて、高い基準で製品を提供することをお約束するマークです。同時に、消費者に対し栄養素の品質・安全性の重要性を啓発するマークでもあります。

クオリマークを高品質の証と製品表示に付与していただくことで、使用されている栄養素がハイクオリティであることを示していただくことができます。また、ビタミンの種類ごとにマークを用意しており、本プレミックスを採用されたメーカーには、“クオリ D”のマークをご利用いただくことができます。



第7回メディケアフーズ展 2015

本プレミックスは、1月28日（水）29日（木）開催の第7回メディケアフーズ展（東京ビックサイト）にて初公開しています。また、最新の研究で判明したビタミン D とビタミン K の健康効果や同時摂取による相乗効果などのエビデンスを同展示会のセミナーで発表し、来場者である管理栄養士への啓発活動も行いました。